

有害物質使用特定施設・有害物質貯蔵指定施設を**新規に設置**する場合で、  
法5条1項、5条3項関係の設置届に該当する場合の例

特定施設 (有害物質貯蔵指定施設) 設置 (使用、~~変更~~) 届出書

年 月 日

大分市長 殿

届出者 氏名又は名称及 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇番地  
 び住所並びに法 〇〇〇〇株式会社  
 人にあつてはそ 代表取締役 〇〇 〇〇  
 の代表者の氏名 電話番号 000-000-0000

水質汚濁防止法第5条第1項、~~第2項又は第3項 (第6条第1項又は第2項、第7条)~~の規定により、特定施設 (有害物質貯蔵指定施設) について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称		〇〇〇〇株式会社 〇〇工場	※整理番号	
工場又は事業場の所在地		大字〇〇 〇〇番地	※受理年月日	年 月 日
第5条第1項関係	特定施設の種類	〇〇号 〇〇	※施設番号	
	有害物質使用特定施設の該当の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	※審査結果	
	△特定施設の構造	別紙1のとおり。	※備考	
	△特定施設の設備 (有害物質使用特定施設の場合に限る。)	別紙1の2のとおり。		
	△特定施設の使用の方法	別紙2のとおり。		
	△汚水等の処理の方法	別紙3のとおり。		
	△排出水の汚染状態及び量	別紙4のとおり。		
	△排出水の排水系統別の汚染状態及び量	別紙5のとおり。		
△排出水に係る用水及び排水の系統	別紙6のとおり。			
第5条第2項関係	有害物質使用特定施設の種類			
	△有害物質使用特定施設の構造	別紙7のとおり。		
	△有害物質使用特定施設の使用の方法	別紙8のとおり。		
	△汚水等の処理の方法	別紙9のとおり。		
	△特定地下浸透水の浸透の方法	別紙10のとおり。		
	△特定地下浸透水に係る用水及び排水の系統	別紙11のとおり。		

様式第1 (裏面)

第5条第3項関係	有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	<input type="checkbox"/> 有害物質使用特定施設 <input checked="" type="checkbox"/> 有害物質貯蔵指定施設		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の構造	別紙12のとおり。		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設備	別紙13のとおり。		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の使用の方法	別紙14のとおり。		
	△施設において製造され、使用され、若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統又は施設において貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統	別紙15のとおり。		

- 備考
- 1 特定施設の種類の欄及び有害物質使用特定施設の種類の欄には、令別表第一に掲げる番号及び名称（指定地域特定施設にあつては、名称）を記載すること。
  - 2 有害物質使用特定施設の該当の有無の欄には、該当するものにレ印を記入すること。なお、有害物質使用特定施設に該当しない場合には、別紙1の2を提出することを要しない。
  - 3 有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別の欄には、該当する施設にレ印を記入すること。
  - 4 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
  - 5 ※印の欄には、記載しないこと。
  - 6 排水の排水系統別の汚染状態及び量については、指定地域内の工場又は事業場に係る届出書に限り欄を設けること。
  - 7 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
  - 8 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。

## 申請の概要

※今回、届出及び申請をするに至った理由を記入すること。変更の場合は、変更内容を併せて記入すること。

備考 申請の目的及び特定施設、汚水等処理施設等に関する申請の概要について記入するとともに、排水量及び負荷量の増減については、概要を記入し、なるべく排水口ごとの表にまとめること。

### 添付図面一覧 (いくつかの図面を一葉にまとめてもよい。)

特定施設	①主要機械装置の構造及び配置図	資料 ( ○○ ) のとおり
	②配置場所図及び操業系統図	資料 ( ○○ ) のとおり
	③床面及び周囲の構造等	資料 ( ○○ ) のとおり
	④設備の配置等	資料 ( ○○ ) のとおり
汚水処理施設	⑤主要機械装置の構造図及び配置図 並びに設計計算書	資料 ( ○○ ) のとおり
	⑥配置場所図及び処理の系統図	資料 ( ○○ ) のとおり
その他	⑦用水、汚水等の経路図	資料 ( ○○ ) のとおり
	⑧排水口の位置図	資料 ( ○○ ) のとおり
	⑨事業所周辺の見取図	資料 ( ○○ ) のとおり
有害物質貯蔵 指定施設	⑩施設の構造及び配置図	資料 ( ○○ ) のとおり
	⑪配置場所図及び操業系統図	資料 ( ○○ ) のとおり
	⑫床面及び周囲の構造等	資料 ( ○○ ) のとおり
	⑬搬入及び搬出の系統等の経路図等	資料 ( ○○ ) のとおり
参考	⑭管理要領、点検頻度等	資料 ( ○○ ) のとおり

(注) ⑤用水の経路は青色、汚水の経路は赤色で表し、水量を記入すること。

### 特定事業場の概要

(平成 ○年 ○月 ○日作成)

工場又は事業場の設立年月日			○年 ○月 ○日		
資本金	○○ 円	従業員数 (当該事業場)	○○ 人	業 種	○○
				産業分類細分類番号	○○○○
主要生産品目及び月生産量	○○ ○○ 個/月				
主要原材料の品目、用途及び使用量	○○ ○○ kg/月				
製造、使用又は処理している有害物質の種類及び量	○○ ○○ kg/月				
特定施設等の種類及び数	別表1のとおり				
作業工程	○○→○○→○○ ↓ 排水				
排水処理の方法及びその系統図	流入→中和・凝集沈殿→放流				
放流先	○○水路経由→○○川				
構造等及び点検の方法	別表2のとおり (有害物質使用特定施設等がない場合は記載不要)				
緊急時等の公害防止管理体制	マニュアル名等、応急措置の体制、連絡体制等の略図等				
届出公害防止管理者(水質)	水質2種 (氏名 ○○ 資格 水質1種) 等				
担当者	○○ 課 ○○ ○○ TEL ○○○-○○○○				

別表 1

施設・工場施設番号対照表

工場又は事業場における施設番号	施設名 (法律記号—施設番号)	慣用施設名	申請又は届出年月日 [変更(最終)年月日]	区分 (設置・既設 変更・廃止 使用)	有害物質の使用等の有無及び該当物質名
〇〇	水-〇〇 〇〇	〇〇	平成〇年〇月〇日 [ ]	設置予定等	〇〇
〇〇	水-〇〇 〇〇	〇〇	平成〇年〇月〇日 [ ]	廃止予定等	〇〇
〇〇	貯蔵	〇〇	平成〇年〇月〇日 [ ]	設置予定等	〇〇
			[ ]		
			[ ]		
			[ ]		
			[ ]		

- 備考
- 1 施設名には、水質汚濁防止法施行令別表第1又はダイオキシン類対策特別措置法施行令別表第2の名称、該当する法律を示す記号（水又はダ）及び施設番号を記入してください。なお、指定地域特定施設及び有害物質貯蔵指定施設の場合は、それぞれ「指定」、「貯蔵」と記入してください。
  - 2 申請又は届出年月日には、当該特定施設等に係る申請又は届出の年月日を記入してください。
  - 3 変更（最終）年月日には、当該特定施設等の直近の変更申請又は届出の年月日を記入してください。
  - 4 有害物質の使用等の有無及び該当物質名には有害物質の使用等がなければ「無」とし、有る場合は「有」とし、括弧内に物質名を記入してください。書ききれない場合は「別紙のとおり」とし、別紙を添付してください。

別表2 有害物質使用特定施設・有害物質貯蔵指定施設及びそれらに付帯する設備についての構造等及び点検の方法

作成日 年 月 日

施設番号	範囲 施設本体種類 (有害物質名)	構造基 準対象 設備	配置場所等 (図面参照)	構造	基準	点検方法	点検頻度	※
〇〇	水-〇〇 (〇〇)	本体	床面から離し て設置 A棟1F 〇〇室	—	—	・施設本体のひび割れ、亀裂、 損傷その他の異常等、 ・施設本体からの漏洩の有無	1回/年以上	
				使用の方法は、管理要領のとおり	—	管理要領からの逸脱の有無	1回/年以上	
		床面・周 囲	A棟1F 〇〇室 施設 ～〇〇注入 施設	・床面は、厚さ100mmのコンクリート ・床面表面は塩化ビニルライニング ・周辺には、側溝を設け流出防止	A	・床面のひび割れ、被覆の損 傷その他 の異常の有無	1回/年以上	
		配管	A棟1F 〇〇室 施設 ～〇〇注入 施設	(地上配管) ・ステンレス製、内部は塩化ビニルライニン グの管 ・床面から離して設置しており、目視による 漏洩の確認ができる。	A	・配管等の亀裂、損傷等の異 常の有無 ・配管からの漏洩の有無	1回/年以上	
排水溝、 ためます	A棟1F 〇〇室内ため ます～排水処 理施設	(地上配管) ・ステンレス製、内部は塩化ビニルライニン グの管 ・床面から離して設置しており、目視による 漏洩の確認ができる。	A	・配管等の亀裂、損傷等の異 常の有無 ・配管からの漏洩の有無	1回/年以上			

別表2 有害物質使用特定施設・有害物質貯蔵指定施設及びそれらに付帯する設備についての構造等及び点検の方法

作成日 年 月 日

施設番号	範囲 施設本体種類 (有害物質名)	構造基準対象 設備	配置場所等 (図面参照)	構造	基準	点検方法	点検頻度	※
〇〇	貯蔵 (〇〇)	本体	床面に接して 設置 〇〇室横屋 外	— 液面計設置	—	・施設本体のひび割れ、亀裂、 損傷その他の異常等、 ・施設本体からの漏洩の有無	1回/年以上	
				使用の方法は、管理要領のとおり	—	管理要領からの逸脱の有無	1回/年以上	
		床面・周 囲	〇〇室横屋 外	・床面は、厚さ100mmのコンクリート ・周辺には、防液堤を設け流出防止	A	・床面のひび割れ、被覆の損 傷その他 の異常の有無	1回/年以上	
		配管	A棟1F 貯蔵施設～ 〇〇注入施 設	(地上配管) ・ステンレス製、内部は塩化ビニルライニン グの管 ・床面から離して設置しており、目視による 漏洩の確認ができる。	A	・配管等の亀裂、損傷等の異 常の有無 ・配管からの漏洩の有無	1回/年以上	
		排水溝、 ためます	なし					

## 特定施設の構造

工場又は事業場における施設番号	〇〇	
特定施設番号及び名称	〇〇号 〇〇	
型 式	浸漬式 (〇〇社製 〇〇)	
構 造	材質〇〇製(構造図は添付資料 〇〇のとおり)	
主 要 寸 法	〇〇mm×〇〇mm×〇〇mm	
能 力	〇〇製造 〇〇個/日	
配 置	〇〇工場 屋内地上に設置 (配置は添付資料〇〇)	
設 置 年 月 日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	〇〇年 〇〇月 〇〇日	年 月 日
工事完成予定年月日	〇〇年 〇〇月 〇〇日	年 月 日
使用開始予定年月日	〇〇年 〇〇月 〇〇日	年 月 日
その他参考となるべき事項	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; display: inline-block;"> <p>有害物質使用特定施設に該当する場合には、施設の床面及び周囲の構造等を記載すること。防液堤等については、可能な場合には容量を記入すること。</p> </div>	

備考 1 配置の欄には、当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。

2 その他参考となるべき事項の欄には、当該特定施設が有害物質使用特定施設に該当する場合には、施設の床面及び周囲の構造等を記載すること。



## 特定施設の設備

工場又は事業場における施設番号	〇〇	
特定施設番号及び名称	〇〇号 〇〇	
設 備	地上配管、地下配管(埋設)、バルブ、フランジ、排水溝、ためます	
構 造	地上配管 材質〇〇製 地下配管 材質〇〇製 バルブ 材質〇〇製 フランジ 材質〇〇製 排水溝 材質〇〇製 ためます 材質〇〇製	
主 要 寸 法	地上配管 直径〇〇mm×〇〇m 地下配管 直径〇〇mm×〇〇m バルブ 〇〇箇所 フランジ 〇〇箇所 排水溝 直径〇〇mm×〇〇m ためます 〇〇mm×〇〇mm×〇〇m	
配 置	添付資料〇〇のとおり	
設 置 年 月 日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	〇〇年 〇〇月 〇〇日	年 月 日
工事完成予定年月日	〇〇年 〇〇月 〇〇日	年 月 日
使用開始予定年月日	〇〇年 〇〇月 〇〇日	年 月 日
その他参考となるべき事項		

- 備考 1 有害物質使用特定施設に該当しない場合には、本様式を提出することを要しない。
- 2 配置の欄には、当該特定施設の設備の配置を記載すること。

## 特定施設の使用の方法

工場又は事業場における施設番号		〇〇			
特定施設号番号及び名称		〇〇号 〇〇			
設置場所		添付資料〇〇のとおり			
操業の系統		添付資料〇〇のとおり			
使用時間間隔		5日/週 1日〇〇回			
1日当たりの使用時間		〇〇分/回、〇〇時間/日			
使用の季節的変動		無又は有 (〇〇月～〇〇月 100%稼動、〇〇月～〇〇月〇〇%稼動)			
原材料(消耗資材を含む。)の種類、使用方法及び1日当たりの使用量		〇〇物質 〇〇kg 〇〇物質 〇〇kg 〇〇物質 〇〇kg			
汚水等の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
	〇〇 〇〇	〇〇 〇〇	〇〇 〇〇		
汚水等の量 (m <sup>3</sup> /日)		通常	最大	通常	最大
		〇〇	〇〇		
その他参考となるべき事項		製造・使用・処理している有害物質名・及び使用量 〇〇 〇〇kg 〇〇 〇〇kg			

備考 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

届出様式においては義務とはなっていないが、管理要領、点検頻度、同等以上の点検の内容などについて、必要に応じて添付することが望ましい。

その他参考となるべき事項の欄には、有害物質使用特定施設の場合において、有害物質の製造、処理を行っている場合には、製造、処理を行っている有害物質の種類を記載することが望ましい(届出がなされた特定施設のうち、どの施設が有害物質使用特定施設になるかを把握するため)。なお、有害物質を使用している場合、原材料の欄に記載される場合には、改めて記載する必要はないが、記載されていない場合にはその他参考となるべき事項の欄に記載する。

## 汚水等の処理の方法

工場又は事業場における施設番号		〇〇							
処理施設の設置場所		添付資料〇〇のとおり							
設置年月日						年 月 日			
工事着手予定年月日		〇〇年 〇〇月 〇〇日				年 月 日			
工事完成予定年月日		〇〇年 〇〇月 〇〇日				年 月 日			
使用開始予定年月日		〇〇年 〇〇月 〇〇日				年 月 日			
種類及び型式		生物化学的又は物理化学的処理等 メーカー〇〇 型式〇〇							
構造		材質〇〇製 等							
主要寸法		添付資料〇〇のとおり							
能力		〇〇m <sup>3</sup> /日							
処理の方式		ろ過方式							
処理の系統		添付資料〇〇のとおり							
集水及び導水の方法		〇〇製の地上配管等							
使用時間間隔		連続等							
1日当たりの使用時間		24時間等							
使用の季節変動		無又は有 (〇月～〇月 100%稼働、 〇月～〇月〇〇%稼働)等							
消耗資材の1日当たりの用途別使用量		〇〇物質 〇〇kg等							
及び汚水等の汚染状態	種類・項目	通常		最大		通常		最大	
		処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後
	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇					
	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇					
量 (m <sup>3</sup> /日)	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇					
残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方法		汚泥〇〇kg 業者委託							
排出水の排出方法		添付資料〇〇のとおり排水口番号 〇〇							
その他参考となるべき事項		汚泥処理委託先 〇〇							

備考 1 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排出水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

2 排出水の排出方法の欄には、排出口の位置及び数並びに排出先を含め記載すること。

### 排水水の汚染状態及び量

工場又は事業場における施設番号		排水口〇〇			
排出水の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
		〇〇 〇〇	〇〇 〇〇	〇〇 〇〇	
排水水の量 (m <sup>3</sup> /日)		通常	最大	通常	最大
(m <sub>3</sub> /日)		〇〇	〇〇		
放流先 (河川名等)		〇〇水路→〇〇川			
その他参考となるべき事項		汚水処理施設 施設番号〇〇 特定施設 施設番号〇〇 浄化槽〇〇人槽			

備考 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

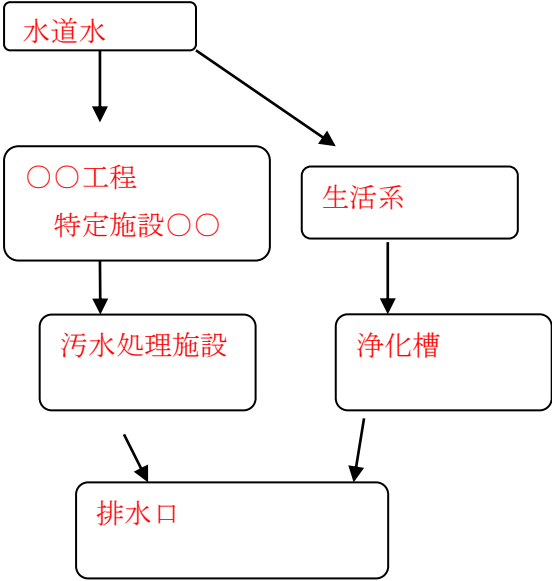
## 排水水の排出系統別の汚染状態及び量

(通常の日排水量 50 m<sup>3</sup>未満の場合添付不要です)

				指定項目の別							
特定排水水	業 種 その他 の区分	汚染状態 (mg/L)		水量 (m <sup>3</sup> /日)					汚濁負荷量 (kg/日)		※
		通常	最大	通常	最大	Q <sub>co</sub>	Q <sub>ci</sub>	Q <sub>cj</sub>	通常	最大	
	〇〇業 (番号〇〇)	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇				〇〇	〇〇	
合計			〇〇	〇〇				〇〇	〇〇	〇〇	
特定排水水以外の排水水	種類及 び用途	汚染状態 (mg/L)		水量 (m <sup>3</sup> /日)		汚濁負荷量 (kg/日)					
		通常	最大	通常	最大	通常	最大				
	冷却水	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇				
合計			〇〇	〇〇	〇〇	〇〇					
その他の 参考事 と項											

- 備考
- 1 本紙の記載にあたっては、指定項目ごとに作成すること。
  - 2 指定項目の別の項、汚染状態の項及び汚濁負荷量の項には、指定項目について記載すること。
  - 3 窒素含有量について記載する場合には、「Q<sub>co</sub>」を「Q<sub>no</sub>」と「Q<sub>ci</sub>」を「Q<sub>ni</sub>」と読み替え、Q<sub>cj</sub>の項には記載しないこと。
  - 4 リン含有量について記載する場合には、「Q<sub>co</sub>」を「Q<sub>po</sub>」と「Q<sub>ci</sub>」を「Q<sub>pi</sub>」と読み替え、Q<sub>cj</sub>の項には記載しないこと。
  - 5 ※印の欄には記載しないこと。

用水及び排水の系統

用水及び排水の系統	 <pre>                 graph TD                     A[水道水] --&gt; B["〇〇工程 特定施設〇〇"]                     A --&gt; C[生活系]                     B --&gt; D[汚水処理施設]                     C --&gt; E[浄化槽]                     D --&gt; F[排水口]                     E --&gt; F             </pre>		
用途別 用水使用量	用途	使用水	用水使用量 (m <sup>3</sup> /日)
	〇〇	〇〇	〇〇
	〇〇	〇〇	〇〇

## 有害物質使用特定施設（有害物質貯蔵指定施設）の構造

工場又は事業場における施設番号	〇〇	
有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	有害物質貯蔵指定施設	
型 式	貯蔵タンク (〇〇社製 〇〇)	
構 造	材質〇〇製(構造図は添付資料 〇〇のとおり)	
主 要 寸 法	〇〇mm×〇〇mm×〇〇mm	
能 力	貯蔵量 〇〇m <sup>3</sup>	
配 置	〇〇工場 屋内地上に設置 (配置は添付資料〇〇)	
床 面 及 び 周 囲	床面 防液堤 配管 (詳細は添付資料〇〇)	
設 置 年 月 日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	〇〇年 〇〇月 〇〇日	年 月 日
工事完成予定年月日	〇〇年 〇〇月 〇〇日	年 月 日
使用開始予定年月日	〇〇年 〇〇月 〇〇日	年 月 日
その他参考となるべき事項		

備考 配置の欄には、当該有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。

「配置」の欄には、地下に設置されている場合には、その旨記載すること

## 有害物質使用特定施設（有害物質貯蔵指定施設）の設備

工場又は事業場における施設番号	〇〇	
有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	有害物質貯蔵指定施設	
設備	地上配管、地下配管(埋設)、バルブ、フランジ	
構造	地上配管 材質〇〇製 地下配管 材質〇〇製 バルブ 材質〇〇製 フランジ 材質〇〇製	
主要寸法	地上配管 直径〇〇mm×〇〇m 地下配管 直径〇〇mm×〇〇m バルブ 〇〇箇所 フランジ 〇〇箇所	
配置	添付資料〇〇のとおり	
設置年月日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	〇〇年 〇〇月 〇〇日	年 月 日
工事完成予定年月日	〇〇年 〇〇月 〇〇日	年 月 日
使用開始予定年月日	〇〇年 〇〇月 〇〇日	年 月 日
その他参考となるべき事項		

備考 配置の欄には、当該有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設備の配置を記載すること。

「設備」の欄には、施設に付帯する配管等、排水溝等の設備の名称を記載すること  
「構造」の欄には、設備の材質を記載するとともに、検知設備を有する場合にはその旨記載すること

「主要寸法」の欄については、設備のうち、主なものについて寸法を記載すること  
「配置」の欄については、建物の名称・位置等を記載するとともに、地下に設置されている場合にはその旨を明記すること。

有害物質を含む水が流れない場合には、構造等に関する基準が適用されないので、その他参考となるべき事項の欄にその旨記載すること。



## 有害物質使用特定施設（有害物質貯蔵指定施設）の使用の方法

工場又は事業場における施設番号	〇〇	
有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	有害物質貯蔵指定施設	
設置場所	添付資料〇〇のとおり	
操業の系統	〇〇施設に有害物質〇〇を供給 (〇〇施設から受け入れなど)	
使用時間間隔	5日/週 1日〇〇回	
1日当たりの使用時間	〇〇分/回、〇〇時間/日	
使用の季節的変動	無又は有 (〇月～〇月 100%稼働、 〇月～〇月 〇〇%稼働)	
原材料(消耗資材を含む。)の種類、使用方法及び1日当たりの使用量(有害物質使用特定施設の場合に限る。)		
貯蔵する有害物質の種類(有害物質貯蔵指定施設の場合に限る。)	有害物質名〇〇(濃度〇〇%)	
その他参考となるべき事項		

備考 有害物質貯蔵指定施設の場合には、使用時間間隔の欄及び1日当たりの使用時間の欄には、それぞれ当該施設への有害物質を含む水の供給時における当該施設の使用時間間隔及び使用時間を記載すること。

届出様式においては義務とはなっていないが、管理要領、点検頻度、同等以上の点検の内容などについて、必要に応じて添付することが望ましい。

その他参考となるべき事項の欄には、有害物質使用特定施設の場合において、有害物質の製造、処理を行っている場合には、製造、処理を行っている有害物質の種類を記載することが望ましい(届出がなされた特定施設のうち、どの施設が有害物質使用特定施設になるかを把握するため)。なお、有害物質を使用している場合、原材料の欄に記載される場合には、改めて記載する必要はないが、記載されていない場合にはその他参考となるべき事項の欄に記載する。

用水及び排水の系統（搬入及び搬出の系統）

<p>施設において製造され、使用され、若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統（有害物質使用特定施設の場合に限る。）又は貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統（有害物質貯蔵指定施設の場合に限る。）</p>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center;"> <p>貯蔵施設                      搬入：タンクローリーから供給                      搬出：配管をとおり〇〇施設へ連続供給。                       ※詳細は資料〇〇（平面図）のとおり。</p> </div>		
<p>用途別用水使用量</p>	<p>用 途</p>	<p>使 用 水</p>	<p>用水使用量(m<sup>3</sup>/日)</p>

備考 有害物質貯蔵指定施設の場合には、用途別用水使用量の欄には記載しないこと。